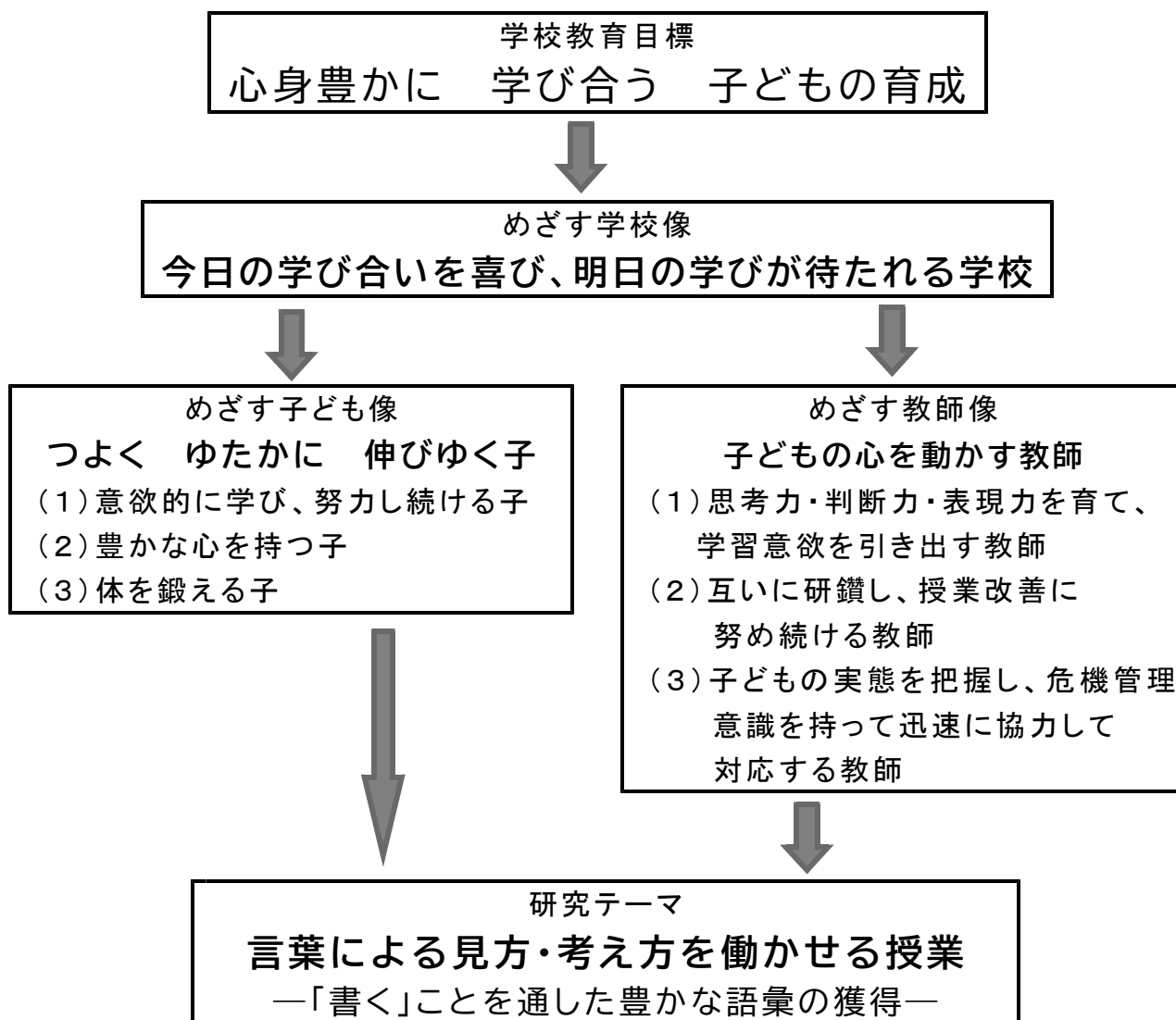


2022年度(令和4年度) 研究推進案



1. テーマ設定の理由

昨年度の児童の実態

- ・学力テストの結果…国語、算数ともに、条件付き記述問題の正答率が低い
- ・学力向上プランより…国語

「主語や述語、修飾語の役割を正しく理解できていない」

「条件作文では、複数の条件を読み取り、条件に合わせて本文から要素を抜き出して、文章にすることが難しい」

算数

「立式はできても、その式の意味を文章で書き表すことができない」

- ・職員アンケートの結果…思考力、対話力、表現力、書く力に課題を感じている



「思考する」「対話する」そして「表現する」ためには、語彙が豊かであることが必要である。中央教育審議会答申において、「小学校低学年の学力差の大きな背景に語彙の量と質の違いがある」と指摘されており、語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。

語彙を豊かにするには…○意味を理解している語句の数を増やす

○話や文章の中で使いこなせる語句を増やす

○語句と語句の関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高める

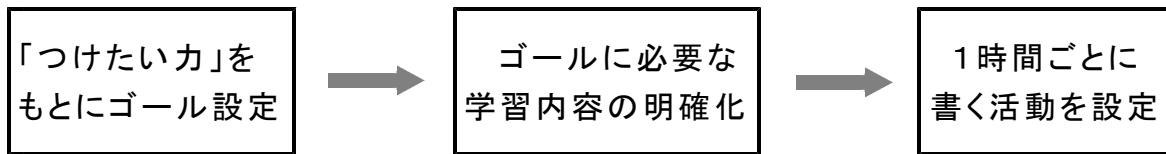
学習指導要領解説 国語編では、「児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることが、‘言葉による見方・考え方を働かせる’ことである」と述べられている。言葉への自覚を高めることは、語彙を豊かにすることと通じるものがある。また、学習指導要領において、国語科の目標は、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする」と掲げられている。

豊かな語彙の獲得が、本校の児童が現在抱えている課題の解決に繋がると考えられる。そして、豊かな語彙を獲得するためには、国語科に視点を定め、研究に取り組むことが有効であると考えられる。そのため、課題の1つである「書く」ことを通し、自分の考えを明確にしたり、場面や条件に応じた表し方を吟味したり、学習の成果を表現したりする授業作りをし、テーマに迫っていきたい。

2. 研究の進め方

(1) 授業づくり

① 単元の組み方



② 書く活動の取り入れ方

○どの場面で(導入で、意見交流の前に、授業の最後に)

○何のために(考えを整理するために、気づきを残すために、振り返るために)

○何を(自分の考えを、学習して分かったことを、次時への課題を)

○どのように(箇条書き、キーワード指定、書き出し指定、文字数指定

思考ツール使用、ノート使用、ワークシート使用、タブレット使用)

③ 「書く力」の系統性(別紙)

④ ICT の活用

(2) 指導案の書き方

○形式はおおむね、昨年度のを継続する

○「指導にあたって」の項目において、研究テーマ及び「書く」活動の取り入れ方について記述する

○本時の評価基準・ルーブリック(判断基準)を示す

(3) 校内研の取り組み

○学期ごとに1日設定 (今宮先生招聘)

○1日に2学年実施→1, 2時間目 1学年

3, 4時間目 1学年(全体研究授業学年)

5時間目 1クラス(全体研究授業) 他クラス下校

○3学年が全体研究授業を行う

○年間の中で全員1授業

(4) 研究授業を学びの場にする手立て

①子どもの学びの姿を見取る

②子どもの表情が確認できる場所で見取る

③文字言語で記述したものから見取る

(5) 研究の評価

- ① 指導案・全体研究授業
- ② 学校評価アンケート(教師、児童、保護者)に、研究テーマに関連する項目を設ける
- ③ 学力テストの記述問題の正答率

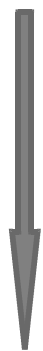
3. 研究計画

(1) 年次計画

- 1年次(令和4年度)… 研究テーマの共通理解
教材研究と授業実践に重点
- 2年次(令和5年度)… 研究テーマの共通理解のもと、教材研究し、授業実践
成果と課題の確認・検証
- 3年次(令和6年度)… 1, 2年次の授業実践をまとめ、研究発表会

(2) 年間計画

研究テーマを共通理解し、教材研究と授業実践に重点を置いた研究



5月 2日(月)	研究全体研修会
6月23日(木)	全体研究授業①【 6 】年、(5)年
夏季休業中	夏季研修会
11月17日(木)	全体研究授業②【 4 】年、(2)年
2月10日(金)	全体研究授業③【 3 】年、(1)年
3月 9日(木)	研究全体研修会

- ・「書く」ことの系統表作成
- ・研究テーマの再考
- ・研究内容の焦点化

4. 授業力向上の取り組み

- (1) 他教科研究授業
- (2) 対話型ミニ講座